



8月のほけんだよ!



古川保育園 令和4年8月

太陽が照りつける真夏の暑さの日が多くなりました。外気温と室内の温度差が大きいので、体が慣れるのも大変ですね。風通しが良く少しゆったりしたデザインや、汗を吸収しやすく優しい素材の服装を選んで、暑い夏でも快適に過ごせるようにしたいですね。たくさん汗をかいた後は、皮膚を清潔にしてあせもやとびひにも注意しましょう。保育園でシャワーをしても、おうちでボディソープなど使い、一日の汚れと皮脂をしっかりと洗い流し、気持ちもさっぱりして良質な睡眠で夏の疲れを溜めないことも必要です。

また、この時期は食中毒が急増する時期です。近年では一年中細菌やウイルスに注意が必要ですが、調理前や食事前は特に十分な手洗いと調理器具の衛生的な管理が大事になりますので注意しましょう。



園医健診

8月10日(水)14:30

0・1歳児

新型コロナウイルス感染症第7波への警戒

感染者の増加に伴い、医療のひっ迫も来ています!!

受診したくても、診てもらえない現状は軽症でも治療しなければ重症化となったり、悪化することになります。

感染しないために何をどうしたらよいか、もう一度感染症対策を振り返り考えてみるのが今、必要なのではないのでしょうか。

大切ないのちを守るために、一緒に正しい感染対策をしましょう。



感染予防対策 ~今更のおさらい編~ **【基本的な感染予防対策の継続が重要です】**

- ・3密の回避: どの程度が密? 密ではない工夫をしていますか?
- ・マスクの着用: 場面ごとで、正しいつけ方は出来ていますか? 咳エチケットも出来ていますか?
- ・手洗い: いつ・どんな時にしていますか? 効果的な手洗いは出来ていますか??
- ・換気: 換気しています。できていると思います。という感じではないですか?
- ・ワクチン接種: 接種したから絶対安全? 接種しても感染予防対策を継続することが大切です。



〔夏に気をつけたい感染症〕 手足口病とヘルパンギーナ

エンテロウイルス属のコクサッキーウイルスなどを原因とする感染症です。ともに発疹や口腔内の水泡などが特徴的な症状を認められますが、新型コロナウイルス感染症との鑑別が難しいこともあるため、発熱時はほかの症状の有無にも注意してください。受診して医師に診断してもらうことが大切です。



夏の過ごし方

帰省や旅行などの計画ではこんな事に気をつけましょう!

- * 小さい子に合わせた無理のないスケジュールをたてましょう
- * 混雑した場所・時間帯を考慮して極力避けましょう。
- * 熱中症は室内でもおこります。子どもの体調変化は大人と一緒にしないように!
- * 出かけたあとは疲れています。十分な休息を取りましょう。

楽しい思い出になるように、感染対策をしながらお過ごしください。